



5月は愛鳥月間 ～ 野鳥たちの恋の季節です ～

ウグイスはホトトギスが大嫌い？ ケキョケキョ！

野鳥観察会は中止になりましたが…

立田山自然探検隊の3月例会「野鳥と友達になる探険(3/15)」は残念ながら中止となりましたが、一人でお祭り広場へ行ってみました。足下の草むらには冬鳥のシロハラ、芝生広場にはこれまた冬鳥のツグミ。さらに、アオジ、ムクドリがやってきました。木の上にはコゲラやメジロ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ヤマガラが。森の中からはウグイスのホーホケキョが聞こえ、賑やかでした。トンボ池では、オオバン、カイツブリ、ハシビロガモが見られましたのでちょっとだけ紹介します（写真はインターネットデータです）。（益田）



▲シロハラ（白腹）



▲ツグミ（鶉）



▲アオジ（青鴉）



▲ムクドリ（棕鳥）



▲コゲラ（小啄木鳥）



▲メジロ（目白）



▲ヒヨドリ（鶉）



▲シジュウカラ（四十雀）



▲ヤマガラ（山雀）



▲ウグイス（鶯）



▲オオバン（大鵜）



▲カイツブリ（鳩）



▲ハシビロガモ（嘴広鴨）



立田山に響くウグイスの谷渡り

5月4日、緑滴る五月晴れの立田山憩の森を散策しました。遊歩道のすぐ近くの林の中から「ケキョケキョケキョ」とウグイスのケタタマシイ鳴き声(谷渡り)が聞こえます。何かを警戒しているようです。ホトトギス早も来鳴きて…。数日前からホトトギスの鳴き声が聞かれるようになったので、きっとホトトギスが巣の近くに飛来したのでしょう。



ホトトギスは「托卵(たくらん)」する野鳥として有名。自分の卵をウグイスの巣の中に産んで、孵化した雛をウグイスに育ててもらおうのです。ホトトギスとウグイスの卵の様子はそっくり。孵化までの時間がウグイスより短く、先に生まれた雛ホトトギスはウグイスの卵を巣から蹴りだすとも言われます。そうとも知らず、親ウグイスは、何倍も体の大きな雛ホトトギスをケナゲに育ててしまいます。ビックリの子育て術ですね。（藤井）